

Joloda (International) Ltd
51 Speke Road, Garston,
Liverpool, England L19 2NY
Tel: Int. +44 (0)151 427 8954
Fax: Int. +44 (0)151 427 1393
[http // www.Joloda.com](http://www.Joloda.com)
email: info@Joloda.com



ジョロダ ローラースケート 取扱い説明書

型式 : MAX

ジョロダ・システムの最適利用のため、純正ジョロダ
レールを使用してください。

(英国) JOLODA INTERNATIONAL LIMITED
日本国内総代理店 : 日本ホデーパーツ工業株式会社

1. まえがき

この度はジョロダローラースケートをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品はトラック内においてパレットを移動する為のシステムです。
ご使用前には、必ずこの取扱い説明書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないように大切に保管してください。なお、本品をほかのお客様にお譲りになる場合は、必ず本書も合わせてお渡しください。

2. 概要

ジョロダローラースケート本体(以下本体と呼ぶ)と起こし棒の組合せでトラック内においてパレットを移動するためのシステムです。このシステムはトラックの床に埋め込まれた専用レールで使用します。

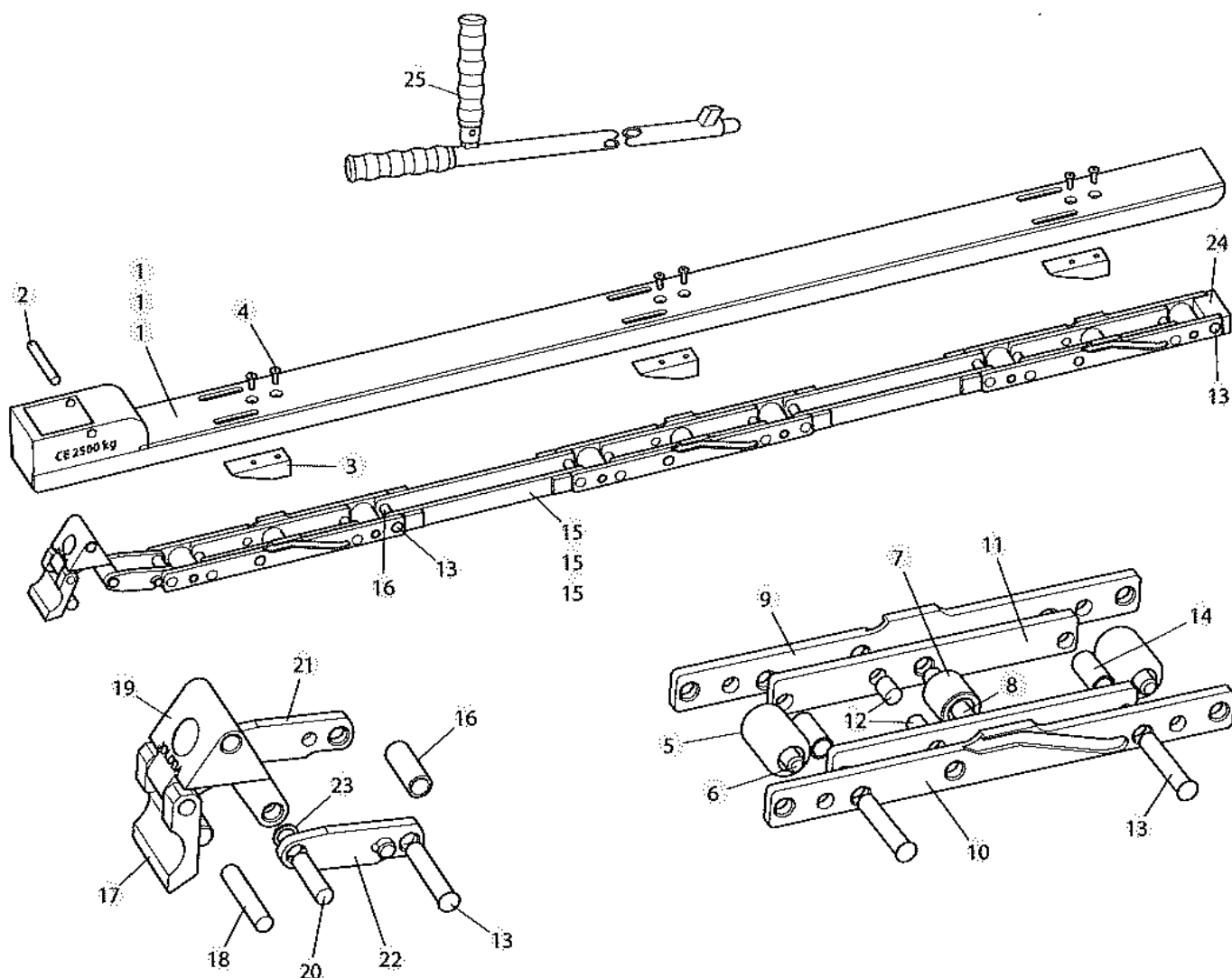
3. 本製品の特長

- * 本製品は英国で設計・製造された荷役システムであり、世界中で数多く使用されております。
- * 予めトラック荷台床面に埋め込まれたレールの中を本体が移動することによりパレット(荷物)を移動させます。
- * スペースの限られた作業域での荷役に最適です。
- * 電気、油圧、空気圧などを使わない構造になっている為、故障も少なく丈夫です。
- * 操作も簡単であり、安全且つ迅速な荷役作業ができます。

4. 使用上、安全上のご注意

ご使用になる前に以下に記載の「ジョロダローラースケートのしくみ、能力」「ジョロダレールについて」「操作方法」「使用上、取扱い上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

 警告	誤った扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った扱いをすると人が傷害を負ったり物的傷害の発生が想定される内容を示します。
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。

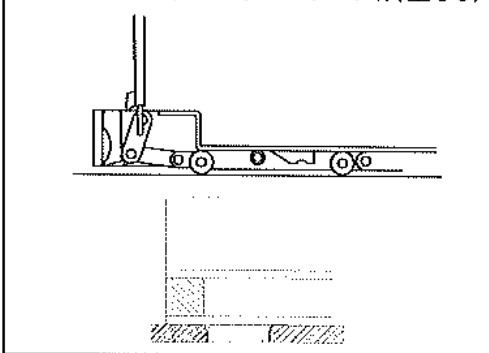


アイテム	新部品番号	商品名	数量
1	SKM12053J1A	1.2m 本体フレーム	1
	SKM11053J1A	1.1m 本体フレーム	1
	SKM10053J1A	1.0m 本体フレーム	1
②	SKY09005100	ベルクランク リベット	1
③	SKY0700400P	ランプ	3
④	SKY15007000	ソケットスク류ビス	6
⑤	SKA04001000	メインローラー	6
⑦	SKA04002000	ピボットローラー	3
9	SKY0601100P	ボギーサイドプレート 左	3
10	SKY0601200P	ボギーサイドプレート 右	3
11	SKY0600300P	インナーサイドプレート	6
⑫	SKY09010100	ボギーサイドプレート リベット	6
⑬	SKY09008100	ボギー リベット	12
14	SKY1000200P	ボギー スペーサー	6

アイテム	新部品番号	商品名	数量
15	SKA0800300P	リンク (1200用)	4
	SKA0800200P	リンク (1100用)	4
	SKA0800100P	リンク (1000用)	4
16	SKY1000100P	リンク スペーサー	5
17	SKA0300200P	フラップ	1
⑮	SKY09004000	フラップ ピン	1
19	SKY010030HP	ベルクランク	1
⑳	SKY09007100	ベルクランク リベット	1
㉑	SKA0200300P	ベルクランク リンク 左	1
㉒	SKA0200400P	ベルクランク リンク 右	1
23	SKY15006000	ベルクランク ワッシャー	2
24	SKY1100200P	エンドストップ	1
25	SKA20001000	起し棒	1
	SKY09012000	フレームピン	6

6. ジョロダローラースケートのしくみと能力について

下降時のジョロダローラースケート(荷重なし)

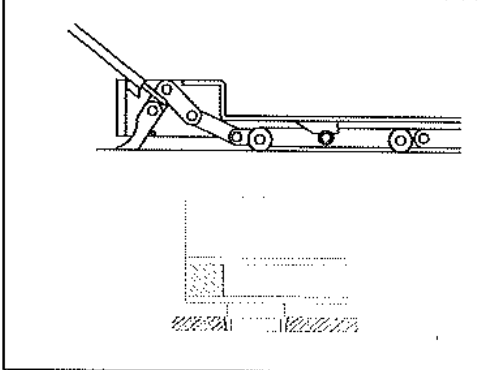


本体は必ずレールの中で使用します。

本体は下降時でも上昇時でも、ローラーが動いてすべる構造になっております。

下降時には本体だけが移動します。

上昇時のジョロダローラースケート(荷重あり)



本体をパレット(荷物)の下に入れて起こし棒を使ってリフトアップ(上昇)させるとパレット(荷物)を乗せたまま移動する事ができます。

上昇→移動→下降の作業によりトラック内でパレット(荷物)を移動して設置する事ができます。

ジョロダローラースケートの仕様(能力) [MAX]

	全長	有効長さ
ジョロダローラースケート MAX L=1000	1130	1000
ジョロダローラースケート MAX L=1100	1230	1100
ジョロダローラースケート MAX L=1200	1330	1200

長さによって上記3種類があります。

1セット(2本)の最大積載量	2500kg
上昇巾	20.0mm

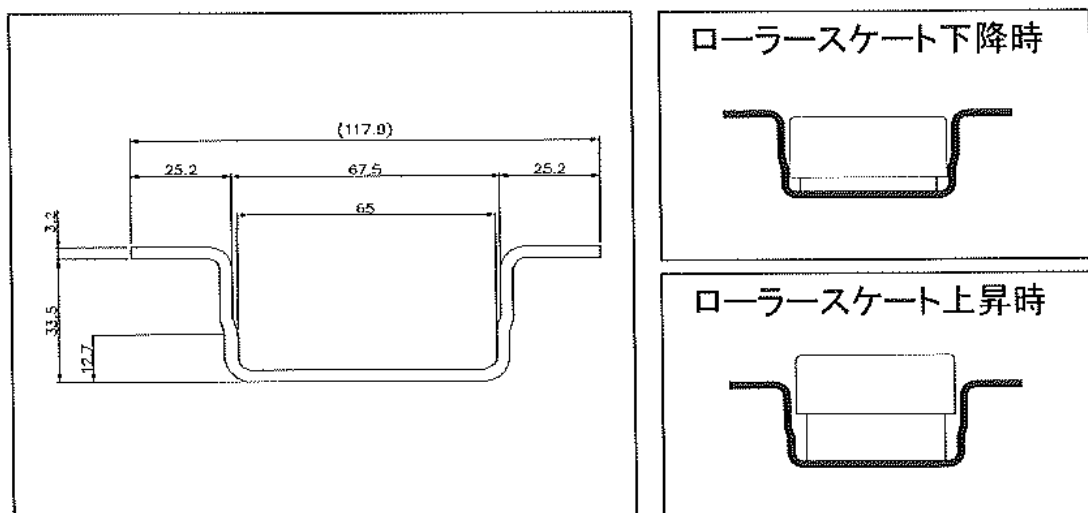
ただし最大積載量2500kgはパレット寸法(長さ)が本体の有効長さと同じであること、パレット上の積荷の荷重が均等にかかるときの積み方、状態である事、ジョロダ純正レールを使用している事、レールが横根太間でたるんでいない事、レールも本体も新品であることなど最適な条件での数値です。

積荷の状態やレールの状態、使用状況など条件により、この数値は低くなって来ますのであくまで目安の数値としてお考えいただき、状況を見ながらこれ以下の重量で使用してください。(アルミ製ジョロダレールをご使用の場合は、鉄製やステンレス製に比べて強度的に弱い為、レールのたるみが発生してローラーの動きが悪くなり、すべりにくくなる場合があります。鉄製やステンレス製の約6割(1500kg)を最大積載量としてお考えください。)

7. ジョロダレールについて

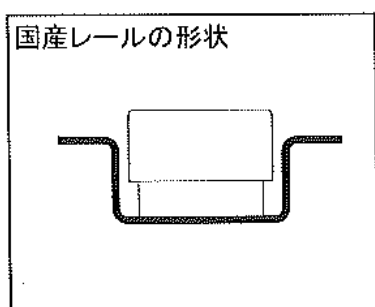
ジョロダ純正レールの特長

- * ジョロダ純正レールはヨーロッパ独特の高降伏点のスチールを使用している為、強度的に強く、たるみも発生しにくく、耐摩耗性も高く、丈夫で長持ちします。
- * 亜鉛メッキスチールを使用しており、防錆性にも優れています。
- * ジョロダ純正レールの形状は図のように底の方が狭くなっており、本体とレールの側面との隙間を小さく押さえている為、ローラースケートが自動的にレールの中央に位置するようになり、手動力も少なく、真っ直ぐにスムーズな走行が行われます。
- * レールの中央を真っ直ぐにスムーズに走行する為、レール、本体共傷みが少なく長持ちします。



- * ジョロダ純正レールと本体は両方とも、ヨーロッパ独特の高降伏点の強いスチールを使用しています。
安全確実な荷役作業を行ない、製品を長持ちさせる為にも、本体を使用する時は必ずジョロダ純正レールを使用してください。

- * ジョロダ純正レールとしては亜鉛メッキスチール（鉄製）以外にも、ステンレス製、アルミ製を用意しております。使用目的、使用状況によりご選択ください。



国産のレールの場合、ローラースケートとレール側面との隙間が大きい為、左右に蛇行して走行したり、右端又は左端に片寄って走行したりと安定したスムーズな走行ができません。
この事により、ローラースケートのローラー部の傷みも早くなり、スケート本体のフレームも曲がったり、歪んだりしやすくなります。
又レールも摩耗しやすく長持ちしません。

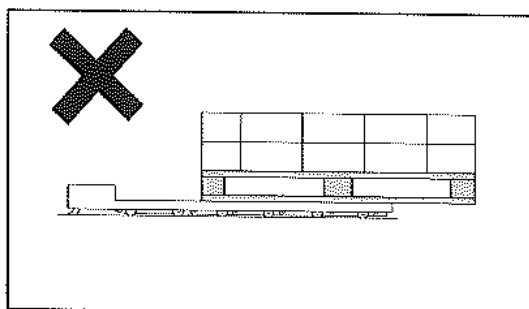
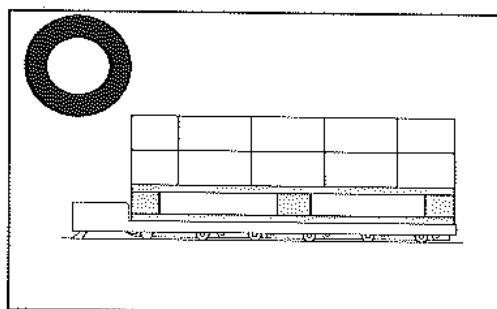
8. ジョロダローラースケート操作方法

ジョロダは、2本のジョロダレールと2台の本体によって使用して下さい。

起こし棒で本体をリフトさせ、荷物後部から手押しにより、パレット(荷物)を移動させます。

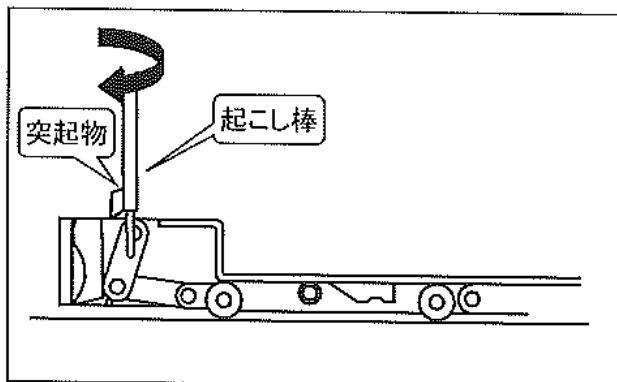
1. ジョロダレール内に本体を入れてすべらせながら、パレット(荷物)の下へすべり込ませます。
(この時本体は下降の状態)

注)この時パレット(荷物)の端が本体頭部まぎわの位置まで来るように入れてください。

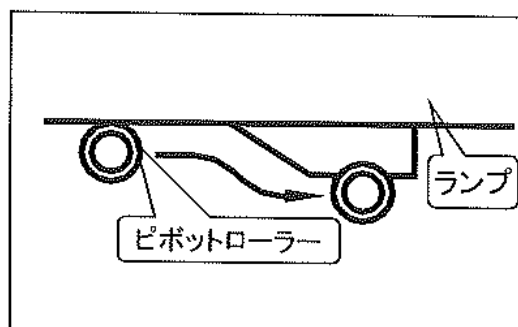
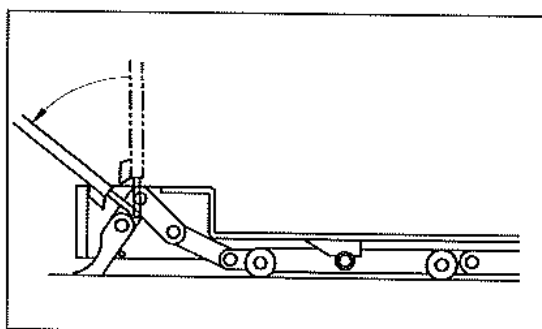


2. 本体頭部の上面にある穴に起こし棒を奥まで差し込みます。
(この時起こし棒は垂直の状態)

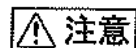
3. 起こし棒を回転させ、起こし棒先端の突起物が手前にくるようにします。



4. 起こし棒を両手で持って手前に倒して行くと、ピボットローラーがランプの上に乗リリフトします。この時、起こし棒の突起物が本体の内部に掛かる状態まで倒してください。



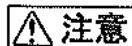
注) 起こし棒を操作する場合は必ず両手で確実に作業を行ってください。
片手で操作するのは危険です。



注) 完全にリフトするまで絶対に両手を離さないでください。
リフトする手前で手を離すと、スケートが下へ落ち込み、その反動で起こし棒が前方へはね戻ったり、飛び出したりして危険です。



注) 新品の時で約45度倒せばリフトします。使用を重ねる事により部品が摩耗してくると、倒す角度も大きくなって来ます。
あくまで目安であり、その都度確実にリフトした事を確認してください。



5. 片方の本体が完全にリフトしたら、もう片方の本体も同じ手順でリフトさせます。

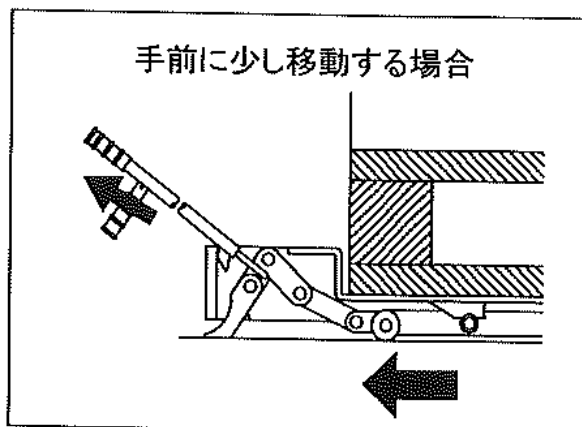
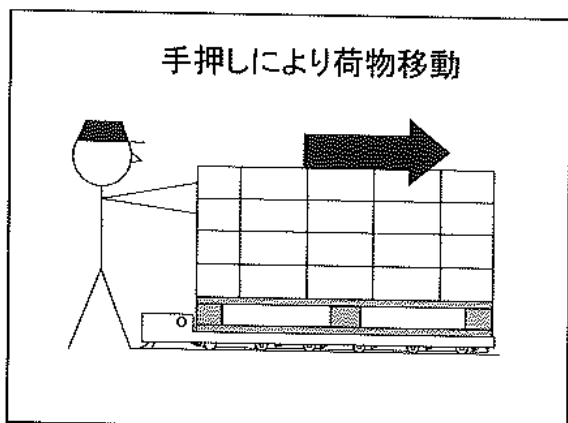
注) 必ず片方ずつ順番にリフトさせる様にしてください。
両方一度にリフトさせるのは危険です。



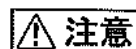
6. 両方の本体がリフトすると、パレット(荷物)は床面より浮いた状態となり、動かすことができます。

7. 荷物後部から手押しによりパレット(荷物)を移動させます。

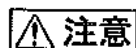
パレット(荷物)を手前に移動する時、荷物間に隙間が無く作業者が荷物後部に回れない場合があります。その時は左右の起こし棒に付いている折りたたみ式取っ手を両手でしっかり握り、パレット(荷物)を手前に少し移動させた後、荷物後部に回り手押しによりパレット(荷物)を移動させてください。



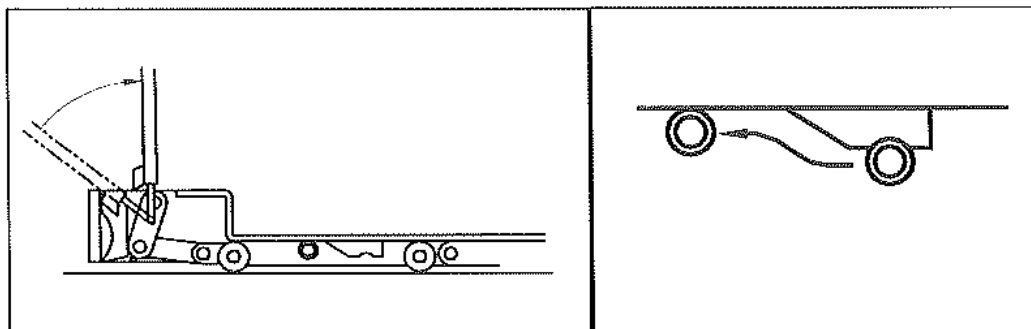
注) パレット(荷物)を移動する時は、動かす方向に人がいないか、傷害物がないか十分に確認してから移動してください。



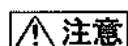
注) パレット(荷物)を移動する時は、自分でコントロールできる範囲の速度で作業を行ってください。



8. 目的の場所までパレット(荷物)を移動したら、起こし棒を垂直の状態まで前方へ戻して下さい。両手で確実に作業を行ってください。(本体が下降します)



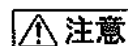
注) 起こし棒を操作する場合は必ず両手で確実に作業を行ってください。
片手で操作するのは危険です。



注) この時も完全に下降するまで、絶対に手を離さないでください。
途中で手を離すと本体が下降するはずみで起こし棒が
はね戻ったり、飛び出したりして危険です。

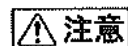


注) 下降時も必ず片方ずつ確実に行なってください。
両方一度に行なうのは非常に危険です。

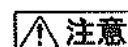


9. 両方共、本体が下降すると、パレット(荷物)は床面に設置、安定します。
(この時点で、本体とパレット(荷物)とは3ミリの隙間が生じ、本体は簡単に引き抜く
ことができます。)
10. 左右の起こし棒を本体から抜き、一時他の場所に置きます。
11. 本体をパレット(荷物)の下から抜き、次の作業の場所に移動させ、次の作業に
入ります。

注) トラック後部にて、フォークリフトでパレット(荷物)を積み下ろしする際は
積む時も、降ろす時も本体は必ず下降の状態にしておいてください。
また、起こし棒は必ず本体から抜いた状態で作業を行ってください。



注) 荷役作業が終了して本体を使用しない場合はジョロダレールの中に
本体を入れたままにしないで、保管場所に格納してください。
ジョロダレールの中に本体を入れたままにしておくと、トラック走行中に
本体がジョロダレール内を移動する為、傷む原因となります。
保管場所でも走行中に本体が移動しないように固定してください。



9. ジョロダローラースケート使用上、安全上の注意事項

1. 本体は必ずジョロダ純正レールと一緒に使用してください。
2. 本体を使用する場合は必ず荷台が水平な状態で使用してください。

注) 本体は下降時、上昇時にかかわらずローラーが動いてすべる構造になっています。
急斜面、荷台が傾斜のついた状況で使用しますと、すべり落ちたり、荷物が車外に放り出されたり、非常に危険です。

⊙禁止 ⚠警告

3. 本体を使用中に車(トラック)を動かしたり、車(トラック)が勝手に動いたりしない様にしてください。

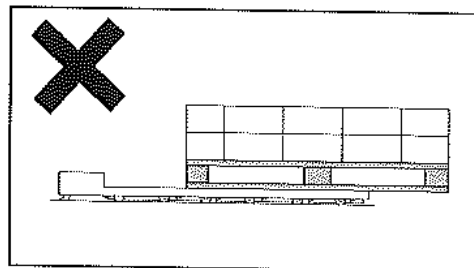
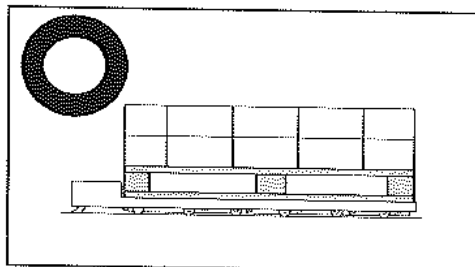
⊙禁止 ⚠警告

4. 本体は必ず、最大積載量以内で使用してください。

⚠注意

5. パレットは使用する本体のパレット受け部の長さ(有効長さ)に合致したサイズ(長さ)の物を使用してください。

6. パレット(荷物)の下に本体を入れる時は、頭部まぎわの位置まで確実にに入れてください。確実に入れてからリフトしてください。

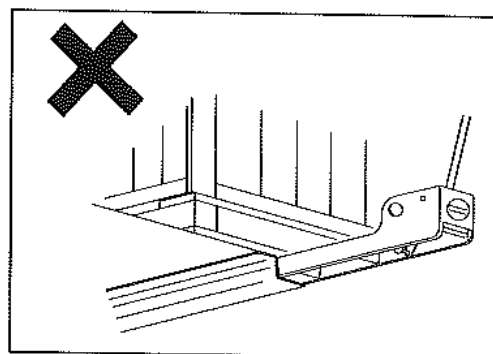
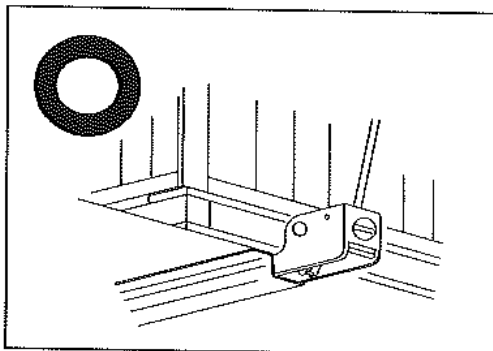


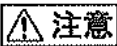
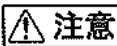
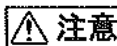
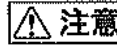
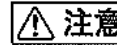
7. トラック後部などで、パレット(荷物)を本体でリフトする時は、必ずローラーがすべてレールの中に入っている位置でリフトしてください。

フォークリフトなどでパレット(荷物)を荷台に積む位置はレールの後部端より内側(奥)であること。

本体のローラーがレールの中に全て入っていない状態でリフトすることは非常に危険であるとともに、本体破損の原因となります。

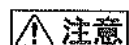
⚠警告



8. パレットの上の荷物は出来る限り均等に積み、パレット及び本体にかかる荷重が均等になるようにしてください。
9. パレット上の荷物は本体の上昇時、移動時、下降時に荷崩れを起こさないように安定した積み方を行ない、パレットに固定してください。
不安定な積み方しか出来ない場合は、倒れたり、崩れたりしないように確実に固定してください。  注意
10. 本体の前後には緊急用ブレーキ装置が付いております。システムの架装に際しては、固定型又は伸縮自在型ストッパーを取りつけてください。
11. 起こし棒を入れてリフトする際、確実にリフトするまで絶対に手を離さないでください。
途中で離すと本体が落ち込み、その反動で起こし棒がはね戻ったり飛び出したりするので危険です。  警告
12. 本体のリフトは片方ずつ確実に行なってください。
両方一度に行なう事は危険です。  注意
13. パレット(荷物)を移動する時は、動かす方向に人がいないか、障害物がないか、十分確認してから動かしてください。  注意
14. パレット(荷物)を移動中は急に人が現れたり、障害物が現れる事も考えられるので常に注意を払いながら移動してください。  注意
15. レール部分、本体部分、パレット下部、パレットと荷台床面との隙間などに手や足や体の部分を入れないでください。
はさまれる恐れがあり、非常に危険です。  注意
16. パレット(荷物)を移動するときは、自分でコントロールできる範囲のスピードで行なってください。
パレット(荷物)をスピードをつけて動かすと、積荷が崩れてはさまれたり、パレットや荷物が車外に放り出されて事故につながる恐れがあり非常に危険です。  警告
17. 本体を下降させる時は、起こし棒を使って片方ずつ確実に下降させてください。
両方一度に行なうのは危険です。  注意
18. 起こし棒を使って本体を下降させる時、完全に下降するまで手を離さないでください。
途中で手を離すとジョロダローラースケートが下へ落ち込み、その反動で起こし棒がはね戻ったり、飛び出したりして非常に危険です。  警告
19. ジョロダローラースケートを下降させる時は、パレット(荷物)の下に足や体の部分をはさまないように充分注意してください。  注意

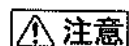
20. トラック後部などで、フォークリフトでパレット(荷物)を積む時は本体は下降の状態にしておいて下さい。また、起こし棒は必ず本体から抜いた状態で作業を行ってください。

リフトした本体の上に直接パレット(荷物)を積む事は非常に危険であるとともに、本体破損の原因となります。

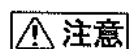


21. パレット(荷物)をトラック後部などに移動して、フォークリフトなどで降ろす場合は、必ず本体を下降させて、パレット(荷物)を安定設置させてから降ろしてください。

リフトさせたまま降ろすのは、非常に危険であるとともに、本体破損の原因となります。



22. トラック走行中に本体がレールの上を行ったり来たりすることのないようにしてください。危険であるとともに、本体破損の原因となります。



23. 本体を使用しない場合は、レールの上に置いたままにしないで、すべらない状態で格納しておいてください。

24. レールを使用せずに、一般平面で直に本体を使用する事は絶対にしないでください。非常に危険です。

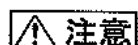


25. 本体を荷台から地面へ放り出すなど、乱雑な扱いはしないでください。本体破損の原因となるだけでなく、機器自体の寿命も縮めます。



26. 本体を分解したり、改造したりしないでください。

27. 荷役作業中に本体がレールと干渉し動かなくなった場合、無理に動かそうとせずもう一度リフトダウンとリフトアップをやり直してください。



10. 日常の点検と修理について

1. 常時レール内の乾燥、清掃を行なってください。

レール内にゴミやほこりがたまっていると、本体のローラーが巻き取ってしまい、すべりが悪くなったり、破損の原因となります。

2. 本体も乾燥、清掃を常時おこなってください。

ゴミやほこりが付いて固まってくると、本体のすべりが悪くなってきたり、破損の原因となります。ゴミなどを定期的に取り除いてください。

3. 起こし棒も定期的に見視チェックしていただき、亀裂等が発見された場合直ちに使用をやめてください。そのまま使用を続けると危険です。

新品を購入いただくことをお勧めいたします。



4. ジョロダレールに油を注したり、塗ったりしないでください。

油を塗るとほこりを非常によく吸い取ってしまう為、ローラーが動きにくくなり、すべりも悪くなります。ローラーも油の上を滑る状態となり、片減りをおこしローラーの寿命も縮めます。

①禁止

5. 本体に潤滑剤などを注したり、塗ったりしないでください。

潤滑剤はローラーのベアリングのグリスを流してしまい、ローラーの寿命を著しく縮めます。

①禁止

6. 本体の各部品は使用を重ねて行く事により、確実に摩耗してきます。

定期的に、作動状態、各部品の摩耗状態、ガタなどをチェックして、状態によっては修理に出してください。(修理は有償)

特に部品リストに記載してある重要消耗品及び消耗品は頻繁にチェックしてください。

7. ローラーのすべりが極端に悪くなった場合は、ローラーが摩耗して摩り減っている事とフレームが曲がって歪んでいる事などが考えられます。

このような場合は修理に出してください。(修理は有償)

8. 本体が起こし棒を入れて手前に倒してもリフトしない症状が出た場合は、直ちに使用を止めて修理に出してください。

そのまま使用を続けているとリフトする際、完全にリフトしない状態で本体が下へ落ち込み、その反動で起こし棒がはね戻ったり、飛び出したりして危険です。

⚠警告

注)ベルクランクとベルクランクリンクは、本体をリフトする際、大きく荷重が掛かり摩耗もおこりやすい部分です。

強度的にも、対摩耗に強い材質を使用していますが、使用を重ねて行く事により、摩耗により摩り減ってガタが出てきます。ガタが大きくなると、起こし棒を倒してもピポットローラーがランプの坂を完全にのぼる事が出来ずに、ランプの溝に乗る事が出来なくなり、リフトする事が出来ません。

注)新品の時は、約45度ぐらい起こし棒を倒すとリフトしますが、使用を重ねて行くにつれて、部品の摩耗により倒す角度が大きくなってきます。

摩耗度を見る目安にして下さい。

9. 修理については、代理店または取扱い店へお問い合わせください。